

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数も一定の落ち着きを見せ、忘新年会等の機会も増えるのではないかと。
	◎	スナック（経営者）	・他の国はまだ新型コロナウイルスの感染状況は厳しそうだが、日本は大丈夫だと思う。世界経済をけん引していきけるくらいに、日本経済を回して欲しい。
	◎	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者の激減で、予約の動きが活発である。相変わらず団体旅行はないが、個人客がかなり回復してきている。特に、県独自の観光誘客施策のお陰で、動きが活発である。
	◎	観光名所（職員）	・インバウンドはしばらく戻らない。海外旅行を控える分、国内観光客に助けられるのではないかと。今後、新型コロナウイルスの感染再拡大が起きないことを願うばかりである。
	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	・今の流れはもう止まらないと思う。子供が少なくなって、跡を継ぐ人がいないとか、新型コロナウイルスの影響で、小さな葬儀が当たり前になってきている。皆が知ってしまったということである。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息を期待し、回復を願っている。
	○	商店街（代表者）	・11月から来年度新入学の子供たちの制服等の採寸、注文受付に入るので、恐らく3か月後にはかなり良くなっていくと期待している。
	○	商店街（代表者）	・衆議院議員選挙が終わり、Go To Travelキャンペーンや各種キャンペーンの後押しを期待したい。ただし、客の財布のひもは非常に固い。
	○	百貨店（店長）	・売上は前年を上回りつつあるが、前々年のレベルには戻っていない。今後は新型コロナウイルス次第ではあるものの、顧客の来店も増えてきており、業績は上向くのではないかと。ただし、そのスピードは緩やかである。
	○	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者が劇的に減少している。ワクチンの3回目接種を早く実施してもらいたい。
	○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが落ち着いてきて、緊急事態宣言も解除され、人は少しずつふだんの生活に戻ってくるのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスも落ち着いて、外出する機会も多少は増えて、地区のいろいろな行事も戻ってくると思うので、商材を買ってくれる機会も若干増えると思っている。
	○	コンビニ（経営者）	・今月はたばこの増税の影響で余り良くない。今後は、新型コロナウイルスも落ち着き、国や県も補助金等を出して、景気回復に力を入れているので、良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・年末年始に向けて、客の購買意欲が増加する。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルスも徐々に落ち着いてきており、来客数が伸びてきてくれれば、景気は良くなる。
	○	その他専門店 [酒]（店長）	・前年12月は東京も新型コロナウイルス感染拡大第3波中だったので、2か月後は前年より良いことは間違いない。ただ、ガソリン価格が非常に高騰しており、いろいろな物の価格が高くなっている。2か月くらいは良くなるかもしれないが、物価上昇に伴う消費の冷え込みで、3か月後はまた厳しい状況になるとみている。
	○	一般レストラン（経営者）	・各種の宣言や自粛等の解除があったが、それほど著しい動きがあるわけではない。ただし、このまま新型コロナウイルス新規感染者数が抑えられれば、消費者の不安も減ってくるのではないかと。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波の影響を抑えられるかがポイントになる。今から対策を講じる必要性を強く感じている。
○	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波の心配もあるが、現在段々落ち着いてきている状態で、毎日の営業では客が少しずつ戻ってきていると感じている。これから忘年会シーズンにも入るし、多少の宴会はあると考えられるので、少し期待したい。	
○	都市型ホテル（スタッフ）	・今後、忘新年会の需要が高まるが、各企業とも開催の方向で進んでいる。実際に100名以上の宴会等が12月に2件、1月以降で5件ほど、前週くらいから問合せや引き合いが来始めている。	

	○	タクシー運転手	・10月も中旬までは大分悪い方へ向かっていたが、前週辺りからやや上向きになっている。11月以降、外出する機会が増えて、酒を飲みに行く人たちも増えてくるのではないかと。
	○	遊園地（職員）	・感染対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・プレミアム付商品券を再度販売する自治体が増えてきている。還元率が下がり、販売枚数も制限のあるなかではあるものの、売上増につながってくることを期待したい。
	□	コンビニ（経営者）	・売上が増えてきていても、10月からの最低賃金引上げで、人件費も掛かっている分、そこまで変わらない。
	□	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波の襲来を考えると、また巣籠りを始めるので、変わらない。
	□	コンビニ（店長）	・今月末に制限解除になったが、元々、当地では余り影響がなかったため、今後も特別大きな変化はない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・期待できない。
	□	家電量販店（店長）	・今後の景気対策が不透明のため、変わらない。
	□	乗用車販売店（経営者）	・半導体不足がいつまで続くか不透明な状況で、3か月先は見通せない。厳しさが続くかと予想する。
	□	旅行代理店（副支店長）	・現状では回復傾向を感じられるが、新型コロナウイルスの感染拡大第6波を懸念し個人の自粛傾向や企業の規制は継続されている。現状からの景気回復は難しい。
	□	通信会社（経営者）	・年末にかけて物価上昇が続くとみられ、節約志向が強まれば、流れがまた悪い方に向くかもしれない。
	□	通信会社（社員）	・経済活動がある程度回復すると、もう少し娯楽への支出も増えると思うが、現時点でその動きは少ないように思える。
	□	設計事務所（経営者）	・例年忙しい時期になるが、実施設計の予定は少ない。
	□	住宅販売会社（経営者）	・依然として、別荘販売に関する問合せや資料請求数が多い。
	▲	百貨店（営業担当）	・ガソリン、灯油等が高騰しており、それ以外にも値上げになっている物が多くあるので、財布のひもがちょっと固くなるのではないかと。
	▲	ゴルフ場（経営者）	・短期決戦で行われた衆議院議員選挙も終了し、プレーヤーの話題から選挙の話がなくなったとはいえ、11月中は秋のゴルフシーズンだが、冬季となる12月は大変厳しい状況が続くものと考えられる。クラブ側としてはインフルエンザ対応も検討していきたい。
	▲	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・原油価格が高騰していて、売上は前年とさほど変わらず、費用が増えて、人件費も上がっている。これでは、経営が成り立たない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、駄目である。
	×	スナック（経営者）	・悪くなると回答したが、今日明日のことが分からないので、2～3か月先のことは全然分からない。良くなるような気配はない。
	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・今のところ、新型コロナウイルスの感染は減少傾向にあるが、再び感染拡大が起こるかもしれないと思うと、すぐに回復するとは考えにくい。しかし、緊急事態宣言が解除され、規制の緩和などが進み、これから活気が戻ってくれることに期待する。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	食料品製造業（営業統括）	・年末年始のワイン需要には大変期待しているが、新型コロナウイルスの感染拡大第6波がどうなるかが、大変心配される場所である。
	○	食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者減少に伴い、徐々に制限が解除していけば、景気回復の兆しが見えてくる。
	○	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・来月くらいから、少しずつだが各種イベントを開催する方向になっているので、期待したい。
	○	金属製品製造業（総務担当）	・半導体不足のため、やや良くなる。
	○	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・来月から催事が目白押しで、売上の回復を期待している。ただし、Go Toキャンペーンがあった前年の今頃と比べると、今年は、まだ様々な制限の解除が始まったばかりなので、前年並みの回復までは見込めない。

	○	金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況の終息による経済活動の回復や政府の経済対策により、景気は上向きに推移する。
	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・前年同様、年末年始に向けて緊急事態宣言が発出される可能性もあるものの、発出がなければ今までの自粛ムードの反動も含め、景気は好転していくと予想している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、先の見通しは全く予想が付かない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先からの受注情報に変動があり、先行きの売上が不透明である。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品の入手次第のところがある。流通が良くなると景気も良くなりそうにはない。
	□	建設業（経営者）	・木材及び資材価格の高騰や納期の問題等が続けば、受注動向にも影響が出るおそれがある。最終的には利益にも影響が出る。
	□	金融業（調査担当）	・これまで改善してきた製造業で、下押し懸念がある一方、新型コロナウイルス新規感染者数が減少し、観光関連需要の伸びが期待できる。K字型の回復が、ややいびつな「ひし形」に変化していくことが予想される。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・各企業の設備投資情報は聞くものの、新年度以降を予定しており、当面の受注は減少気味である。
	×	食料品製造業（製造担当）	・原材料やガソリン価格が落ち着いてくるような情勢ではないため、悪くなる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・売上は減っており、資金繰りが大変である。
雇用 関連	◎	—	—
(甲信越)	○	職業安定所（職員）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの新規感染者が大きく減少し、規制や制限が解除されれば、いろいろな業種で動きが出てくる。
	○	職業安定所（職員）	・政権が安定しそうなため、やや良くなる。
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者の減少により、経済がやや活性化されるとみている。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・収入はおろか就職先がないために、消費するまでに至らないケースが増えているため、今までと変わらない。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が減少したままで少しでも長く続けば、これから冬に向かって、飲食、観光、宿泊業の景気が上向きになる。イベントも、感染拡大防止を徹底し、人数制限をしながら徐々に開催されていく見通しである。
	▲	—	—
	×	—	—